



## 第1地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 石黒 秀司（郡山 RC）

2024年3月のコーディネーターニュースで2019-20年度第2530地区公共イメージ委員会が、2,000人規模で行った愕然のアンケート結果を報告しました。今回は、その続報から。

2023-24年度(今回)も前回と同じ設問で同規模でロータリー認知度調査を行いました。(当地区は人口あたりのロータリアン数が多く、地方新聞2紙の特徴ある地区です。)

■公式ロゴ 見たことがありますか? ..あるが、前回16%・今回19.4%(コツコツ公共イメージ向上の努力したのに!! 小数点以下を四捨五入しても19%の意味ありげな数値)

■「ロータリークラブ」または「ロータリー」という団体について、見たり聞いたりしたことはありますか? ..あるが、前回55%。今回47.7%で大幅ダウン。(なぜ??)

■「ロータリークラブ」または「ロータリー」はどんな活動をしている団体だと思いますか?

全く知らない-前回32%・今回が32.8%。地域の社会奉仕ボランティア活動-前回17%・今回16.6%。会員同士の親睦・交流-前回14%・今回11.5%。会員の職業をとおした地域貢献-前回12%・今回11.0%。前回、特に低かった青少年育成活動(前回4%・今回4.1%)疾病予防根絶活動(前回1%・今回1.6%)は今回のアンケートでも圧倒的に認知度が低い結果。(抜本的なPR方法を変えなければならないのかも?)~あまり変わっていない。「ウーン」と唸ってしまう!!

さて、11/2.3に開催された当地区地区大会で、大野均氏(ラグビーワールドカップ3回出場、歴代トップの日本代表キャップ数98)「弱小チームからワールドカップで勝利するまで」のテーマで感動の講演を聞きました。もっともっと知りたかったので大野氏の書籍を読んでみました。2015年イングランド大会で強豪国・南アフリカ戦の劇的の勝利には当然、勝ちを呼び込む多くの良い要因がありました。\*エディー・ジョーンズHC「チームの歴史を変えよう」のスローガンのもと理不尽なトレーニング(想像を絶する厳しい練習)\*非常識な発想(日本の弱点のスクラムを武器に)\*相手チームを知り戦略・戦術\*南アフリカ戦への周到な準備(滞在する町を全員で下見・リラックスできる環境作り・レフェリーのクセを知る)\*スピーカーで大音量の音楽(大観衆でラインアウトのサインコールが届かない状況で練習)等。

こんな練習に取り組んでいたのかと、あの感動の逆転勝利のシーンが蘇ってきました。

公共イメージ向上の為、やれることはまだまだあるし、やっていたのか?と感じました。いつでもやれることをコツコツと諦めず皆で。良い要因を積み上げる行動の結集が澎湃としてうねりになるはず。今は一時の屈みと信じて「明朗」な心で「納得」行動で取り組みたいものです。

